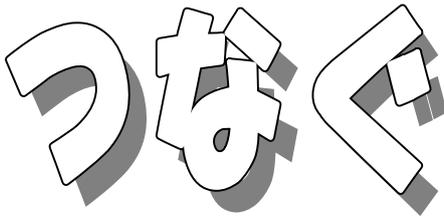


さいたま新都心郵便局過労
自死事件の責任を追及する会

☆Tさんの
思いを「つなぐ」
☆仲間を「つなぐ」
☆いのちを「つなぐ」



第 3 号 2013.12.12

東京都千代田区外神田6-15-14
外神田ストーク502号
郵政共同センター内
TEL:03-3837-5391/ FAX:03-3837-5392
メール: postunion@pop21.odn.ne.jp

12月5日、さいたま地裁に提訴しました

Tさんは二度と戻らない。もうとり返しがつかない。しかし、せめて会社に償いをさせなければならない。会社幹部に責任を取らせなければならない。提訴後の県庁での記者会見は一時間に及びました。ご遺族は「第一には子どもたちに、お父さんは悪くない、働くことは大切なことと伝えたい。働く人が病気にならない、病気にさせない職場環境に近づいてほしいと願います。」と述べられました。この言葉がさいたま新都心局幹部と関東支社や本社幹部の心に届くまで……。いよいよたたかいはのスタートです。

裁判では、Tさんが直接被ったこととTさんが置かれていた職場環境が大きな争点です。

◎自爆営業

「ノルマや自爆営業で自殺」(毎日新聞)、「自爆営業の職場、ストレス自殺」(朝日新聞)、「年賀状ノルマでうつ、自殺」(東京新聞)、各紙が報じています。記者会見では年間売り上げ個人目標としてとんでもない高額が全社員に示されていることも紹介されました。自爆の結果で今年の「かもメール」の販売は全く同じ枚数達成の社員が新都心にはたくさんいるとの情報も寄せられています。法を守れば対面配達時に商品をすすめることはできません。本社は「勤務時間外の営業は禁止」「実際の需要のない買取は禁止」と言っています。では配達だけで大変なのにどうしろというのでしょうか？ 無理に無理を重ねるやり方はやめさせなければなりません。

◎立ち作業

トヨタ生産方式の象徴が立ち作業で、強引に試行局として入れられました。しかし実は効率的でもなんでもないことは全国の郵便局に広がっていないのがなによりの証です。立ち続けて作業した後バイクの振動に乗る。強い疲労が身体に蓄積していきます。前任の岩槻局でイスがあったTさんは生前、立ち作業について「疲れてしまっただけで非効率だ。」と言っていました。

た。

◎納期に迫られる仕事

今年の10月に廃止となった翌朝郵便をTさんは多く担当していました。時間指定の配達物も増加してきました。しかし人員は増えません。ミスはできない、時間は迫る。新聞は「職場でストレス」(読売新聞)、「過重ストレス原因」(埼玉新聞)などと報じました。

◎お立ち台

事故やミスについて説明を求められるという、一種の「見せしめ」と訴状でも書かれています。6日の朝刊各紙も多くがこれを取り上げました。さいたま地裁裁判官が本件の証拠保全に新都心局に入った翌月5月にはこのお立ち台が無くなったそうです。しかしTさんが着任してから亡くなるまでずっと続けられていた事実が変わりません。上の者が責任を果たさず、現場の個人の自己責任を強調する恥ずべき体質はまだ変わっていません。

この裁判はご遺族への会社の賠償を求めるものです。しかしそれにとどまらずこれからの郵便局の職場作りにこの裁判の内容を活かしていかなければなりません。それが亡くなったTさんへのせめてもの供養です。みなさん、ご協力ください。

さいたま新都心局・貯金事務センター・関東支社のみなさん

本会の会報をご覧いただいた皆さんより多数のご意見をいただいております。大変ありがとうございます。

郵政職場には多くの問題が存在します。悩んでいる、許せない、おかしいと思われることがありましたらどなたでもお気軽にご相談ください。

★相談内容に応じて

弁護士が対応します。

★郵便局関係で働く方でしたら正社員にとどまらず派遣社員であるとか期間雇用社員であるとか

雇用形態は問いません。

★相談の窓口は労働組合（郵政産業労働者ユニオン）ですが

労働組合の違いや加入、未加入は問いません。

★どんな内容でも結構です。

秘密は厳守します。

■ 電話番号 03-5974-0816

■ 日 時 毎月第2、4水曜日午後1～7時

*これ以外でも結構です。係の者が不在の場合は折り返し連絡します。

<お願い>

Tさんの事件についてお心当たりの事柄がありましたらご連絡ください。

秘密は完全に守ります。

東京法律事務所（青龍又は山添）

Tel 03（3355）0611

平日9：00～19：30

土曜9：30～15：00

「追及する会」加入のお願い

さいたま新都心郵便局過労自死事件の責任を追及する会は12月5日現在、個人108名、団体27の加入をいただいております。裁判闘争に勝利し、働き続けられる職場をつくるためにより多くの皆さんの加入とご協力をお願い申し上げます。

<さいたま新都心郵便局過労自死事件の責任を追及する会のホームページ>

裁判の状況、会の活動等が載っています。是非ご覧下さい。

<http://www.ne.jp/asahi/post/union/karouzishi/>